

「持続可能な地球を目指して」について

1 目的

- ◆ 持続可能な開発のための教育（E S D）や持続可能な開発目標（S D G s）との関連を踏まえた具体的な指導内容や方法等を示した環境教育指導資料の作成・配布を通して、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力を育成する。

2 配布対象

- ◆ 令和2年3月に都内全公立小・中学校等に配布（2,250部作成）

3 作成委員会

- ◆ 専門家部会
 - ・ 小澤 紀美子 氏（東京学芸大学名誉教授）
 - ・ 江守 正多 氏
（国立環境研究所地球環境研究センター副センター長）
 - ・ 東京都小中学校環境教育研究会の校長
 - ・ 東京都中学校理科教育研究会の校長
 - ・ 東京都環境局及び指導部関係所員
- ◆ 作業部会
 - ・ 東京都公立小・中学校の管理職及び各教科担当の教員

4 資料の特色

- ◆ 環境教育とE S DやS D G sとの関連を明確化
- ◆ カリキュラム・マネジメントの視点から取り組む環境教育の例示
- ◆ 環境教育で育成する資質・能力、対象とする内容の明確化
- ◆ 新学習指導要領への対応



S D G s カラーホイール

5 資料の構成

理論編	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境教育とE S D、S D G sとの関連 ◆ 環境教育で育成する資質・能力、環境教育で対象とする主な内容 ◆ カリキュラム・マネジメントの視点から進める環境教育 	等
実践編	<ul style="list-style-type: none"> ◆ E S D及びS D G sとの関連を図った小学校及び中学校における指導例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会科 ・ 理科 ・ 生活科 ・ 家庭科 ・ 特別の教科 道徳 ・ 保健体育科 ・ 技術・家庭科 ・ 総合的な学習の時間 	
資料編	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境教育に関する東京都教育委員会の取組 ◆ 環境教育に関する東京都の施策 ◆ 持続可能な社会を実現するための17のゴール・169のターゲットについて 	等

6 活用方法

- ◆ 各学校において、環境教育の充実に向けた教育課程の編成や授業の構築、環境教育を柱とした教科等横断的なカリキュラム・マネジメントを進める際に活用する。